

1. 適用範囲

本要領は、当社の従業員及び当社事業所内入場者（請負業者、来客者）の活動に対して、予防的に、危険源を特定し、OHS リスクを評価して、必要なリスクコントロール計画を策定するための手順を定める。

2. リスクアセスメント・登録の実施体制

2. 1 OHS 管理責任者

- (1) OHS 管理責任者は、当社の OHS リスクアセスメントを実施する責任を有する。
- (2) 作成された「リスクアセスメント表」を承認する。

2. 2 安全衛生委員会

安全衛生委員会は、リスクアセスメントを行いリスクの大きさを評価し、また、リスクコントロール計画を評価する。

2. 3 OHS 管理室

- (1) OHS 管理室は危険源を特定するその際、必要に応じてリスクアセスメントの判断材料となる危険有害情報、アウトプットの量や組成等を調査し、補足する。
- (2) 安全衛生委員会で決定された「リスクアセスメント表」を取りまとめ、維持する。

2. 4 部門長

- (1) 危険源を特定するその際、OHS 管理室と協力し、作業の詳細を把握するとともにリスクアセスメントへの協力を提供する。
- (2) リスクコントロール計画を策定し、実行する。

3. 評価手順

リスクアセスメントは、「リスクアセスメント表」を用いて、工程ごとに次の手順により実施する。なお、その際には次の事項とともに労働安全衛生法、消防法などの適用法令を考慮する。

- a) 定常活動だけでなく、清掃、修理、メンテナンスなどの非定常活動も対象とする。
- b) 請負業者、来客者も対象とする。
- c) 人間の行動、能力、その他の人的要因を考慮する。
- d) 自社の所有物か否かにかかわらず、事業所内の施設、設備、システム、原材料を考慮する。

3. 1 プロセスの明確化、危険源の特定及びリスクの洗い出し

部門長と OHS 管理室は、プロセス、活動、設備、使用物質、反応生成物を明確にし、必要な場合、その量、質を特定する。また危険源を明確にし、リスクを洗い出す。

(続く)